

レポートライティングセミナーⅣ

ご参加へのお願い

(特に現在資格取得の為のレポートを作成の方)

平成 26 年 4 月 3 日

JaSIA 事務局

平素、協会活動に対するご理解とご支援、心より感謝致します。

(1) さて、既にご連絡の通り、来る 4 月 19 日にレポートライティングセミナーⅣを実施致します。今回は、設備の評価にフォーカスしたセミナーです。機械設備評価において設備(定着物や設置に不可欠となる電源、配管等の付帯設備等)は資産価値に占める割合も高く、非常に重要ですが、その重要性は見落とされがちで、その評価手法を履修する機会も少ないのが実情です。今回のセミナーは、電源、配管等の付帯設備の評価にフォーカスした、大手メーカーの研究所に関する最近の国内事例^(注)の研究で、評価に加えて ABL 等の評価で重要となる撤去費用の算定についても触れる予定です。

注：今回の事例は、機械・機器そのものの簿価が 4 千万円だったのに対して付帯設備は 2 億円というもので、評価上の設備の重要性を物語っています。

(2) これに加えて、現在資格申請のレポートを作成中の皆様には、以下の理由で是非とも受講頂きたいと考えております。

現在、日々会員の皆様より資格申請書と共に、審査の為のレポートのご提出を頂いております。申請者の多くの皆様が、これまでのレポートライティングセミナーにて当協会よりご提供致しましたサンプルレポートを参考にレポートを作成頂いておりますが、実際のレポート作成に際して色々と苦慮されております。協会にて受領致しましたレポートにつきましても、相当数について訂正・書き直しをお願いしているのが実情です。この問題の解決には、日本の不動産鑑定書の記載様式に基づくアプローチと USPAP、IVS、ASA 基準に基づく機械設備評価書作成のアプローチの違いをもう一度整理し、ご理解頂く必要があるのはないかと考えております。

これまでのセミナーでは機械設備のモデル評価書の解説が中心で、日本の不動産鑑定の手法・常識・レポート作成との比較においてお話しすることはありませんでした。今回のセミナーでは、これらの違いをどのように整理し、実際のレポートに落とし込んで行くのかという点についても、講義の前段で今回の国内事例を通じて解説し、レポート作成実務を補強して行きたいと考えております。このような点からも、現在、資格申請に向けてレポートを準備されている皆様には、是非とも本セミナーを受講して頂きたく、宜しくご検討頂くようお願い申し上げます。

以 上